


整理番号	HT29009	分野	生物・自然	キーワード	バイオリギング・遊泳行動
------	---------	----	-------	-------	--------------

研究機関名	北海道大学				
プログラム名	動物の動きを測ってみよう ～装着型記録計による行動計測～				
先生(代表者)	宮下 和士(みやした かずし) 北方生物圏フィールド科学センター・教授				
自己紹介	<p>海の中の生き物の行動について皆さん知りたいと思ったことはあるでしょうか？ 私もそれが知りたくて長く研究を続けていますがいまだに知らないことが一杯です。そこで最近では生き物たちにいろいろな記録計を付けて彼らの泳ぎ方、えさの食べ方などの行動を観察する「バイオリギング」という技術に注目し研究を進めています。今回はその一端に触れてもらうため、実際に人や水中の生き物に記録計を付けてその行動について観察してもらいます。ワクワクする様なリアルな実験ですので是非皆さん、一緒に楽しみながら学習して行きましょう！！</p>				
開催日時・募集対象	平成29年 8月 4日(金)	受講対象者	中学生・高校生	募集人数	
集合場所・時間	函館市国際水産・海洋総合研究センター	(集合時間)	10:00		
開催会場	函館市国際水産・海洋総合研究センター 住所: 〒040-0051 北海道函館市弁天町20番5号 アクセスマップ URL: http://center.marine-hakodate.jp/access/				
内 容					
<p>海洋生物は、水中でどのように行動しているのでしょうか？ 泳いだり、潜ったり、見ることのむずかしい海洋生物の行動が、最新の機器によって明らかになってきました。みなさんがいつも使っている携帯電話やテレビゲームのコントローラーのような傾きや動きを測定する最新の機器を使って、海洋生物や自分の動きを測ってみましょう！</p>					
スケジュール				持 ち 物	
10:00-10:15 受付(国際海洋センター入り口集合)				筆記用具	
10:15-10:30 開講式(あいさつ, オリエンテーション, 科研費の説明)				タオル	
10:30-11:10 講義「行動を可視化するとは」(講師:宮下和士)				特 記 事 項	
11:10-11:20 休憩				参加される中学生・高校生の方には原則、昼食として、こちらでお弁当を用意いたします。(食物アレルギーがある場合は、必ず事前にお知らせください。) 動きやすい服装でご参加ください。	
11:20-12:00 講義「海棲哺乳類の回遊・行動」(講師:三谷曜子)					
12:00-13:00 昼休み・昼食(お弁当)					
13:00-14:00 実演「GPSによる移動経路の可視化」					
14:00-15:00 受講者による実習「記録計による行動計測」					
15:00-15:30 休憩(おやつ, お茶)					
15:30-16:30 パソコンで解析					

16:30-17:00	解説	
17:00-17:30	修了式(アンケート記入, 未来博士号の授与)	
17:30	終了・解散	

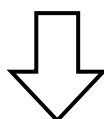
《お問合せ・お申込先》

所属・氏名：	北海道大学北方生物圏フィールド科学センター学術協力担当 佐藤 優子(さとう ゆうこ)
住所：	〒060-0811 北海道札幌市北区北11条西10丁目
TEL 番号：	011-706-2572
FAX 番号：	011-706-4930
E-mail：	kyoryoku@fsc.hokudai.ac.jp
申込締切日：	平成29年7月14日(金)

※当プログラムは先着順にて受付を行います。

《プログラムと関係する先生(代表者)の科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
宮下 和士	H26-28	基盤研究(B)	26292103	RFID 技術を活用した河川生態系における小型魚の行動モニタリングシステムの構築
宮下 和士	H22-24	基盤研究(B)	22405007	高次捕食者をモデルとした北方海洋生態系多次元モニタリングネットワークの構築
宮下 和士	H16-18	基盤研究(A)	16255010	設置型モニタリングシステムを用いたミナミマグロ幼魚の回遊経路の解明
宮下 和士	H18-19	萌芽研究	18651110	多次元定量計測技術を用いた絶滅危惧種イトウの行動生態の解明



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。